



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月3日

東

上場会社名 日東富士製粉株式会社

上場取引所

コード番号 2003

URL <https://www.nittofuji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 宮原 朋宏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長兼総務部長

(氏名) 坂田 喜章

(TEL) 03-3553-8781

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	17,865	△0.6	964	△10.1	1,194	△3.6	822	△3.5
2026年3月期第1四半期	17,968	1.8	1,072	△13.2	1,239	△14.4	852	△28.6

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 532百万円(△36.0%) 2026年3月期第1四半期 831百万円(△30.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	22.58	—
2026年3月期第1四半期	23.40	—

(注) 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	64,201	49,363	76.8
2026年3月期	63,742	50,108	78.5

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 49,283百万円 2026年3月期 50,033百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	140.00	—	140.00	280.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期につきましては、分割前の配当金の額を記載しております。

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	34,000	△4.0	1,700	5.6	2,000	6.7	1,300	13.8	35.63
通期	73,000	0.3	4,200	10.1	4,700	7.2	3,300	△0.6	90.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年3月期1Q	37,538,912株	2026年3月期	37,538,912株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2027年3月期1Q	1,119,840株	2026年3月期	1,119,764株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2027年3月期1Q	36,419,111株	2026年3月期1Q	36,420,336株
------------	-------------	------------	-------------

- (注) 1 当社は、役員報酬BIP信託を導入しており、信託が所有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。
2 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数、期中平均株式数を記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「添付資料」3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、物価上昇やエネルギー価格の動向、海外経済の不確実性などにより、先行きは不透明な状況が続きました。食品業界においては、原材料価格、物流費及び人件費の高止まりが続く一方、消費者の節約志向も強く、厳しい事業環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、2026年5月に公表した「中期経営計画 Rolling Plan」に基づき、供給体制の強靱化及び製販統括機能の強化を推進しております。調達・開発営業・生産の一体運営による需給管理の高度化に加え、S&OP (Sales & Operations Planning) を軸とした全社最適の実現及びSCM (Supply Chain Management) 基盤の再構築に取り組み、経営基盤の強化と持続的な成長の実現を目指しております。

当社グループの第1四半期の業績につきましては、主力の小麦粉の販売数量が前年同期を若干下回ったことに加え、運送事業を営む連結子会社株式の一部譲渡に伴い同社が連結の範囲から除外された影響もあり、売上高は178億6千5百万円（前年同期比0.6%減）となりました。利益面につきましては、売上総利益は増加したものの、販売運賃及び人件費の増加に加え、外食事業におけるフードコストの上昇等により販売費及び一般管理費が増加し、その増加額が売上総利益の伸びを上回ったことから、営業利益は前年同期比で減少いたしました。また、固定資産賃貸料及び受取利息の増加等により営業外収益が増加したものの、経常利益は11億9千4百万円（前年同期比3.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億2千2百万円（前年同期比3.5%減）と減益になりました。

(前年同期間比)

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	17,968	17,865	△102	△0.6%
営業利益	1,072	964	△108	△10.1%
経常利益	1,239	1,194	△45	△3.6%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	852	822	△30	△3.5%

〔セグメント別営業概況〕

当社グループの報告セグメントは、従来、「製粉及び食品事業」「外食事業」「運送事業」としておりましたが、運送事業を担っている当社100%子会社であった日東富士運輸(株)（現：M&Fロジスティクス(株)）について、2025年10月31日付で当社保有株式の66.6%を譲渡し連結の範囲から除外したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より「製粉及び食品事業」及び「外食事業」の2区分を報告セグメントとしております。

① 製粉及び食品事業

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	15,067	14,824	△243	△1.6%
営業利益	1,001	933	△67	△6.8%

「製粉及び食品事業」につきまして、前年同期は米不足を背景とした需要拡大により小麦粉販売が堅調に推移いたしましたが、当第1四半期連結累計期間においては、こうした一時的な需要増加が一巡したことから、販売数量は前年同期を若干下回り、売上高は前年同期比1.6%減の148億2千4百万円となりました。営業利益につきましては、販売運賃や人件費等の販管費の増加により、9億3千3百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

なお、本年4月に外国産小麦の政府売渡価格が平均2.5%引き上げられたことに伴い、当社においても6月20日納品分より小麦粉製品の価格を改定しております。

② 外食事業

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	2,876	3,043	167	5.8%
営業利益	45	26	△19	△43.0%

「外食事業」の働さわやか（当連結対象期間1月～3月）につきましては、主力のケンタッキーフライドチキンの店舗網拡大に加え、販売促進キャンペーンが奏功したことから、売上高は前年同期比5.8%増加し30億4千3百万円と増収になりました。しかしながら営業利益は、人件費やフードコストの上昇に加え、手数料及び賃借料等の各種の営業費用が増加したことから、2千6百万円（前年同期比43.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2026年3月期	2026年6月期	比較
流動資産	33,097	33,949	851
固定資産	30,645	30,252	△393
資産計	63,742	64,201	458
流動負債	9,406	10,602	1,196
固定負債	4,227	4,235	7
負債計	13,634	14,838	1,203
純資産	50,108	49,363	△744
負債・純資産計	63,742	64,201	458

流動資産は339億4千9百万円で、受取手形及び売掛金が減少した一方、原材料及び貯蔵品が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ8億5千1百万円増加しました。固定資産は302億5千2百万円で、時価評価により投資有価証券が減少した等により、前連結会計年度末に比べ3億9千3百万円減少しました。この結果、資産合計は642億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億5千8百万円増加しました。

流動負債は106億2百万円で、未払法人税等や賞与引当金が減少した一方、買掛金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ11億9千6百万円増加しました。固定負債は42億3千5百万円で、資産除去債務が増加したこと等もありましたが、前連結会計年度末とほぼ同額となりました。この結果、負債合計は148億3千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億3百万円増加しました。

純資産は剰余金の配当による利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末に比べ7億4千4百万円減少し、493億6千3百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.7%減少して76.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後につきましては、原材料調達環境や物流コストの動向に加え、消費者ニーズの変化への対応がより重要になるなか、事業環境は引き続き予断を許さない状況が続くものと認識しております。

このような環境のもと、当社グループは、安全・安心で高品質な製品の安定供給を基本としながら、需要に即した商品・サービスの提供及び供給体制の強化に努めてまいります。また、「中期経営計画 Rolling Plan」の達成に向けた諸施策を着実に実行し、収益力の向上と企業価値のさらなる向上を図ってまいります。

2027年3月期（2026年度）の業績予想につきましては、連結売上高730億円（対前期比0.3%増）、連結経常利益47億円（対前期比7.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益33億円（対前期比0.6%減）と2026年5月7日に公表した通期の業績予想に変更はありません。

なお、今後の業績動向により当社グループの業績見通しに修正の必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,176	1,525
受取手形及び売掛金	9,765	9,403
商品及び製品	3,117	3,172
原材料及び貯蔵品	7,906	8,855
短期貸付金	10,636	10,382
その他	502	618
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	33,097	33,949
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,694	6,640
機械装置及び運搬具（純額）	5,403	5,399
土地	4,477	4,478
その他（純額）	630	747
有形固定資産合計	17,205	17,265
無形固定資産		
その他	446	441
無形固定資産合計	446	441
投資その他の資産		
投資有価証券	7,942	7,526
差入保証金	780	787
退職給付に係る資産	3,689	3,667
繰延税金資産	116	101
その他	504	501
貸倒引当金	△40	△39
投資その他の資産合計	12,993	12,544
固定資産合計	30,645	30,252
資産合計	63,742	64,201

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,783	6,612
短期借入金	400	400
未払法人税等	740	215
賞与引当金	714	240
役員賞与引当金	33	5
損害賠償損失引当金	5	77
その他	2,729	3,051
流動負債合計	9,406	10,602
固定負債		
繰延税金負債	2,616	2,603
役員退職慰労引当金	14	15
役員株式報酬引当金	32	29
退職給付に係る負債	265	265
資産除去債務	732	749
その他	567	573
固定負債合計	4,227	4,235
負債合計	13,634	14,838
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,500	2,500
資本剰余金	4,141	4,141
利益剰余金	39,000	38,545
自己株式	△572	△572
株主資本合計	45,069	44,614
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,557	3,268
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	681	715
退職給付に係る調整累計額	725	684
その他の包括利益累計額合計	4,964	4,669
非支配株主持分	74	80
純資産合計	50,108	49,363
負債純資産合計	63,742	64,201

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	17,968	17,865
売上原価	13,788	13,565
売上総利益	4,179	4,300
販売費及び一般管理費		
販売手数料	228	230
販売運賃	832	895
貸倒引当金繰入額	0	△0
給料及び手当	640	687
賞与引当金繰入額	132	123
役員賞与引当金繰入額	5	5
退職給付費用	9	5
役員退職慰労引当金繰入額	1	1
役員株式報酬引当金繰入額	4	3
賃借料	214	222
その他	1,037	1,161
販売費及び一般管理費合計	3,107	3,336
営業利益	1,072	964
営業外収益		
受取利息	14	25
受取配当金	93	85
持分法による投資利益	-	6
固定資産賃貸料	58	83
その他	28	49
営業外収益合計	194	250
営業外費用		
支払利息	1	1
原料売却損	4	4
海外子会社駐在員に係る源泉所得税負担額	9	8
その他	13	6
営業外費用合計	28	20
経常利益	1,239	1,194

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	2	8
投資有価証券売却益	-	0
特別利益合計	2	8
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	8	15
投資有価証券評価損	-	1
特別損失合計	8	17
税金等調整前四半期純利益	1,233	1,185
法人税、住民税及び事業税	238	206
法人税等調整額	139	153
法人税等合計	378	359
四半期純利益	854	825
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	852	822
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	3
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	81	△288
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△71	36
退職給付に係る調整額	△32	△41
その他の包括利益合計	△22	△293
四半期包括利益	831	532
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	833	527
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表 計上額
	製粉及び 食品事業	外食事業	運送事業	計		
国内事業(注3)	14,263	2,875	28	17,167	—	17,167
海外事業(注3)	800	—	—	800	—	800
顧客との契約から生じる収益	15,064	2,875	28	17,968	—	17,968
売上高						
外部顧客への売上高	15,064	2,875	28	17,968	—	17,968
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	0	588	591	△591	—
計	15,067	2,876	616	18,560	△591	17,968
セグメント利益	1,001	45	13	1,060	12	1,072

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 所在地別の売上収益は、事業拠点の所在地を基礎として分類しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 財務諸表 計上額
	製粉及び 食品事業	外食事業	計		
国内事業(注3)	13,933	3,042	16,976	—	16,976
海外事業(注3)	888	—	888	—	888
顧客との契約から生じる収益	14,822	3,042	17,865	—	17,865
売上高					
外部顧客への売上高	14,822	3,042	17,865	—	17,865
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	0	2	△2	—
計	14,824	3,043	17,867	△2	17,865
セグメント利益	933	26	959	4	964

- (注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。
3 所在地別の売上収益は、事業拠点の所在地を基礎として分類しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、従来、「製粉及び食品事業」「外食事業」「運送事業」としておりましたが、運送事業を担っている当社100%子会社であった日東富士運輸(株)(現:M&Fロジスティクス(株))について、2025年10月31日付で当社保有株式の66.6%を譲渡し連結の範囲から除外したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より「製粉及び食品事業」及び「外食事業」の2区分を報告セグメントとしております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)の償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	444百万円	422百万円